

「最新・化粧品開発のための美容理論, 処方/製剤, 機能評価の実際」 ■ISBN978-4-907837-27-3

■発行: 2018年7月10日 ■定価(本体52,000円+税) ■体裁: B5デザインカバー・420頁 Tel/03(5913)8548

■申込先: 技術教育出版社 〒166-0015 東京都杉並区成田東3-3-14 ニックハイムビル106 FAX: 03-5913-8549

■編集: 正木 仁・鈴木敏幸・安藤秀哉

■全面改定版: 構成と内容: 前書は24章構成、本書は36章構成で、本文は前書296頁、本書は403頁(107頁増)です。全ての章の執筆テーマ(アイテム)と内容は、すべて前書と違う最新のものです。執筆: 前書は29名、本書は新たな41名にご執筆いただき前書でご執筆していただいた方5名を加えて計46名です。

■本書の特徴: 化粧品開発のための最新の美容皮膚科学理論と具現化するための最新処方技術

■執筆者46名: 石川准子・花王、横田真理子・コスモステクニカルセンター、岡野由利・CIEL、水越興治・ポーラ化成工業、仁木洋子・日本精化、吉田雅紀・クラシエホームプロダクツ、八谷 輝・村瀬大樹・日下あゆみ・花王、勝山雄志・成和化成、楊 一幸・ポーラ化成工業、横田麻美・ファンケル、高山 悟・一丸ファルコス、池岡佐和子・丸善製薬、畑尾正人・日本化粧品工業連合会、鈴木裕二・(元)花王、宮村孝夫・テイカ、度会悦子・五十嵐崇訓・花王、堀江 亘・ポーラ化成工業、田村英子・花王、川口さち子・淵上雅世・小野寺真里・パナソニック、江連美佳子・花王、鈴木敏幸・田中佳祐・コスモステクニカルセンター、宮本雅義・シャネル化粧品技術開発研究所、樋口智則・太陽化学、平尾哲二・山下裕司・千葉科学大学、徳留嘉寛・城西大学、福田光則・東北大学、大林典彦・筑波大学、安藤秀哉・吉本 聖・岡山理科大学、朝倉浩一・慶應義塾大学、森川和則・大阪大学、飛谷謙介・谿雄祐・長田典子・関西学院大学、青木仁美・岐阜大学、正木 仁・岩淵徳郎・東京工科大学、矢田詩歩・吉村倫一・奈良女子大学、 →http://www.kbsweb.org/Gijyutukyoku/

■構成と内容(HP参照)「保湿化粧品編」第1章 角層研究のオーバービューと角層ケア化粧品の展開

第2章 角層内セラミドに注目した新規保湿化粧品の開発と製剤化技術

第3章 角層細胞間脂質: セラミドプロファイルと肌性状との関連 第4章 タイトジャンクションの生理機能と化粧品素材開発への応用 第5章 角層タンパクの酸化と皮膚保湿機能: 抗酸化ケアの重要性

第6章 肌・角層分析による顧客カウンセリングへの展開

「美白化粧品編」第7章 美白化粧品のオーバービューと今後の展望

第8章 メラノサイトにおけるメラノソーム輸送の仕組み

第9章 メラニン生成酵素チロシナーゼをターゲットとした美白コンセプト 第10章 メラノサイトを取り巻く環境因子をターゲットとした美白コンセプト 第11章 真皮繊維芽細胞がもつ色素細胞のメラニン生成抑制作用について 第12章 表皮へ転送されたmelanosomeを分解するautophagyの機能

第13章 メラノサイト内のメラノソーム輸送阻害をコンセプトとする美白アプローチ

「アンチエイジング・抗老化化粧品編」第14章 抗老化研究のオーバービューとこれからの抗老化化粧品の展開

第15章 医薬部外品薬用化粧品-抗老化化粧品の研究開発-好中球エラスターゼの役割に着目して

第16章 紫外線形成DAMPs/LR3シグナルによって加速される肌光老化とその改善アプローチ

第17章 表皮脂質代謝における糖化の影響と皮膚老化への展開

第18章 表皮の紫外線ダメージ抑制と修復に着目した抗老化コンセプト

「紫外線・太陽光線防御化粧品編」第19章 紫外線防御研究の論点

第20章 日焼け止め化粧料の塗布時に発生するワイスフィンガリング現象がもたらす問題

第21章 紫外線吸収剤、散乱剤のメリットとデメリット 第22章 紫外線及び近赤外線防御粉体の開発と今後の展開

「メイクアップ化粧品編」第23章 高持続性ファンデーションの研究開発

第24章 パウダーファンデーションの開発と機能 第25章 口紅研究開発のトレンド~口紅のうるおい向上

第26章 ポイントメイク化粧視覚効果測定への心理物理学的方法の応用

第27章 コンピュータグラフィック技術の化粧品開発への応用 第28章 IJ印刷技術を応用したメイクアップシートの研究開発

「育毛・毛髪化粧品編」第29章 色素細胞と白髪生成メカニズム

第30章 新規薬剤開発に頼らない部外品育毛料の開発 第31章 髪的美しさと毛髪内部構造

「処方最新技術・全体にかかわる最新技術編」

第32章 ジェミニ型界面活性剤の創製~アミノ酸・糖・ポリヒドロキシを用いて

第33章 液晶、αゲルの生成と応用製剤開発 第34章 高純度モノアルキルリン酸の開発と化粧品への応用

第35章 TXCを含むα-ゲル製剤化技術と美白化粧品の開発

第36章 ポリグリセリン脂肪酸エステル系のαゲルと乳化 →http://www.kbsweb.org/Gijyutukyoku/

注文書=注文書をいただいた後、本を送料小社負担で請求書とともにお送りいたします。お振込みは、当社より、請求書が届いた後にお手続きをお願いいたします。振込み手数料はご負担下さい。 お申し込み:FAX:03-5913-8549

書名	最新・化粧品開発のための美容理論、処方・製剤、機能評価の実際: 冊: お支払予定日: 年 月 日
社名	
所属	
氏名(ふりがな)	
住所	〒
「FAX」	「TEL」
「e-mail」	

ここにご記入いただいた個人情報は、お客様との契約の履行・管理、関連書籍・セミナーのご案内以外に利用することはありません HP181105